

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	あり
----	----

応募概要	分野	伝統芸能	種目	邦楽
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※	複数の企画を実施可能		

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	かぶしがいいしゃとうきょうこんさーつ		
	制作団体名	株式会社東京コンサーツ		
	代表者職・氏名	代表取締役 浅野紀子		団体ウェブサイトURL
				https://www.tokyo-concerts.co.jp/
	制作団体所在地	〒 169-0051	最寄駅(バス停)	早稲田駅／西早稲田駅
		東京都新宿区西早稲田2ー3ー18 AVACOビル2階		
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな	いっぽんしゃだんほうじんれいがくしゃ		
	公演団体名	一般社団法人伶楽舎		
	代表者職・氏名	代表理事 八百谷啓人		団体ウェブサイトURL
				https://reigakusha.com/home/
	公演団体所在地	〒 160-0012	最寄駅(バス停)	信濃町駅
		東京都新宿区南元町19ー2 千日谷会堂内		
	制作団体 設立年月	昭和44年3月		
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
		代表取締役社長:浅野紀子 取締役:久保木英紀 監査役:尚邦男	スタッフ:10名	
	事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者 を置く	本事業担当者名	尚紀子
	経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	村石政昭
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
		reigakusha.jimukyoku03@gmail.com		0332009755

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>1969年創立。以後、作曲家・音楽家のマネジメント・演奏会の企画制作を行う。</p> <p>制作など：</p> <p>文化庁学校公演巡回事業 伶楽舎、組踊伝承の会</p> <p>サントリーホールサマーフェスティバル(1988～)、東日本鉄道文化財団主催駅コンサート、旧奏楽堂日本歌曲コンクール運営、福島市古閑裕而作曲コンクール運営、個人のリサイタル等</p> <p>現在の所属アーティスト：</p> <p>作曲家 池辺晋一郎、新実徳英、猿谷紀郎、権代敦彦、望月京、杉山洋一、原田敬子、金子仁美、伊佐治直、岸野末利加、藪田翔一、浦部雪</p> <p>雅楽 伶楽舎、箏 吉村七重</p> <p>指揮 杉山洋一、伊藤翔、新田ユリ、浦部雪 ピアノ 青柳いづみこ、木村かをり、大瀧拓哉、泊真美子、本田聖嗣、深見まどか、オルガン 松居直美、ハーブ 篠崎史子、木村茉莉、篠崎和子、ヴァイオリン 尾池亜美、チェロ 山澤慧、ギター 藤元高輝、サックス 大石将紀、打楽器 吉原すみれ、安江佐知子、新野将之、歌人 俵万智、劇作家 堤春恵 団体 伶楽舎 他</p> <p>歴代の所属アーティスト</p> <p>作曲家 武満徹、石井眞木、松村禎三、三善晃、一柳慧、湯浅譲二</p> <p>指揮 岩城宏之、若杉弘 他</p> <p>2016年にはコンサート・練習スペースである「トーキョーコンサーツ・ラボ」をオープンし、会場の運営業務・自主制作の公演事業も行っている。</p>	
	学校等における公演実績	<p>伶楽舎の実績</p> <p>【2022年度】</p> <p>文化庁学校公演事業 8件</p> <p>その他 15件(北区立王子第二小学校、北区立稲付中学校、豊田市立崇化館中学校、江戸川区立大杉小学校、中野区立中野本郷小学校、大田区立馬込第三小学校、江戸川区立篠崎第四小学校、杉並区立大宮小学校、小平市立小平第十四小学校、多摩市立南鶴牧小学校、港区立筈小学校、武蔵野市立大野田小学校、江戸川区立鹿骨東小学校、新宿区立大久保小学校、新宿区立戸塚第三小学校)</p> <p>【2023年度】</p> <p>文化庁学校巡回公演事業 7件</p> <p>その他 8件(福生市立福生第一小学校、多摩桜の丘学園、港区立筈小学校、青梅市立友田小学校、渋谷区立代々木中学校、練馬区立旭丘中学校、国分寺市立第六小学校、板橋区立第五小学校)</p> <p>【2024年度】</p> <p>荒川区立尾久西小学校、伊丹市内 8件(南中学校、笹原中学校、東中学校、北中学校、荒牧中学校、天王寺川中学校、西中学校、松崎中学校)、港区立青山小学校、板橋区立三園小学校、足立区立洲江第一小学校、目黒区立月光原小学校、多摩市立南鶴牧小学校、東京都立武蔵野北高等学校、大原小学校、光が丘秋の陽小学校</p> <p>【2025年度】(10/1時点で終了したもののみ)</p> <p>文化庁学校公演事業 6件(ワークショップのみ終了)</p> <p>荒川区立尾久西小学校、台東区立忍岡小学校、府中市立府中第八小学校、八王子市立清水小学校、中野区立みなみの小学校</p>	
	特別支援学校等における公演実績	<p>【2022年度】1件</p> <p>【2024年度】</p> <p>府中市立府中第四中学校(知的固定学級)</p>	

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://www.youtube.com/watch?v=piCVrT2ER9g	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	
		PW:	

別添	あり
----	----

【公演団体名 一般社団法人 伶楽舎 】

本公演・ワークショップの内容	対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
		小学生(高学年)	○	中学生	○
	企画名	「伶楽舎 子どものための雅楽コンサート(標準編成版)」			
	企画のねらい	雅楽は日本の伝統音楽でありながら、一般の人たちが触れる機会は限られており、他の邦楽に比べても、特に合奏は気軽に聴くことのできる機会はほぼない。雅楽の構成要素を網羅したプログラムにより、その音楽を様々な面から紹介し、体験してもらう。標準編成で行うことにより、「世界最古のオーケストラ」と呼ばれる雅楽の合奏の音圧、音の迫力を、体育館にて体感してもらう。 プログラム構成:楽器紹介、管絃の演奏、舞楽の演奏、管楽器・打楽器・舞の体験、子どものための現代の作品の演奏			
	演目概要・演目選択理由	●「越天楽今様/越天楽」教科書に掲載されている楽曲として、親しみやすく、導入に最適の作品である。 ●舞楽「胡飲酒破」面をつけた舞楽の難曲で、陵王と並ぶ名作。舞振りがわかりやすく、曲の旋律も親しみやすい優れた楽曲で、鑑賞価値の高い作品を選曲。 ●「あんたがたどこさ」「各校の校歌」知っている曲が雅楽で演奏された際の響きの違い、印象の違いなどを体験してもらう。 ●「踊れ! つくも神〜童子丸てんでこ舞いの巻」(小学生)伊左治直作曲・脚本 伶楽舎創設者である故・芝祐靖が始めた子どものための雅楽作品のシリーズで、伶楽舎委嘱作品。様々な雅楽の響きやリズムを、お話を聞きながら体験できる。陰陽師、妖怪といった昨今子どもに人気の題材を面白く構成してあり、物語と雅楽で子供を惹きつける圧巻の作品。 ●「星のテンテンテン」(中学生) 山根明季子作曲 子供のための雅楽作品シリーズの一つ。子どもたちに今の感覚で楽しんでもらえる新作を模索し、2017年に委嘱初演した作品。古典だけではない雅楽の魅力を体験してもらいたい。 ●舞楽「五常楽急」(中学生) 舞楽の中では平舞というジャンルで、ゆったりとした優雅な舞振りが特徴。曲は雅楽の世界では越天楽と並ぶ古今の名曲で、格調高い作品として知られる。続く「納曽利急」と成り立ちも装束も音楽も異なり、左舞と右舞、平舞と走舞の違いを鑑賞してもらう。 ●舞楽「納曽利急」(中学生) 中国系に由来する左舞である舞楽「陵王」に対して、朝鮮半島系の右舞である舞楽「納曽利」を取り上げることで、二つの舞の違いを鑑賞してもらう。 ●「長慶子」(中学生) さまざまな行事で参加者が退場する際に演奏する音楽として用いられ、現在でも締めくくりの曲として演奏されることが多い。本公演でも、舞楽会の散会の雰囲気味わってもらう。			
	児童・生徒の参加または体験の形態	●ワークショップ ・雅楽の縦書きの楽譜を見ながら、雅楽楽器の伝統的な習得法である「唱歌」を、拍子をとりながら一緒に歌う。 ・雅楽のリズムパターンや打ち方を知るために、打楽器の打ち方を、指導者の動作を真似て一緒に行う。 ・舞楽の舞の振付を、実際に一緒に身体を動かして覚え、特徴を知る。 ・管楽器3種(笙・箏・龍笛)と打楽器3種を体験する。 ・小学校では、リコーダーで雅楽のメロディーを吹き、その音楽に親しみ、合奏に参加する。 ●本公演 ・ワークショップで学んだ「唱歌」を復習し、児童生徒の代表者が舞台にあがり「越天楽」の演奏に参加する。 ・箏のある学校では、箏の体験も行う。また、希望の学校には、ワークショップの際に龍笛をお貸しし、練習ができた学校では、龍笛でも参加してもらう。			
	児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	全員	
			鑑賞人数目安	制限はありません	
	本公演演目	※標準編成 管絃16名(箏・龍笛・笙 各3名、琵琶・箏 各2名、太鼓・鉦鼓・鞆鼓 各1名) 舞楽16〜18名(箏・龍笛・笙 各4または5名、太鼓・鉦鼓・鞆鼓 各1名)+舞人1〜4人※学校公演では1人舞の予定			
	原作/作曲 脚本 演出/振付	【小学生】 ①「平調音取」、「越天楽」 ②児童との合奏 ★体験・参加 唱歌の練習〜打楽器、龍笛の練習、箏の練習(箏がある学校のみ)〜リコーダーの練習〜合奏「越天楽今様」 ③舞楽のお話 ④舞楽「胡飲酒破」 ⑤舞人、装束などの説明 ⑥「あんたがたどこさ」(芝祐靖編曲) ⑦「踊れ! つくも神〜童子丸てんでこ舞いの巻〜」(伊佐治直脚本・作曲) ⑧「校歌」 【中学生】 ①「平調音取」、「越天楽」 ②生徒と合奏 ★体験・参加 唱歌の練習〜打楽器、龍笛(またはリコーダー)の練習、箏の練習(箏がある学校のみ)〜合奏「越天楽」 ③「陪臚」 ④「星のテンテンテン」より(山根明季子作曲、2017年伶楽舎委嘱作品) ⑤「あんたがたどこさ」(芝祐靖編曲)、「校歌」 ⑥舞楽「五常楽急」 ⑦装束や左舞、右舞の説明 ⑧舞楽「納曽利急」 ⑨「太食調音取」、「長慶子」			
	公演時間	90	分		

出演者	【出演予定メンバー】伊崎善之、石川高、柏木理、五月女愛、笹本武志、野護元、北本茉莉子、田口和美、鈴木絵理、谷内信一、田淵勝彦、角田眞美、東野珠実、中村華子、中村仁美、野田美香、平井裕子、三浦礼美、宮丸直子、村岡健一郎、國本淑恵											
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p>●宮田まゆみ(音楽監督) 国立音楽大学卒業後、雅楽を学ぶ。1979年より国立劇場雅楽公演に参加。83年に初の笙リサイタルを開催。85年より「伶楽舎」メンバー。古典雅楽に加えてジョン・ケージ、武満徹、細川俊夫などの現代作品を初演。オーケストラとの共演各国音楽祭参加など幅広く活動している。2020年より伶楽舎音楽監督。芸術選奨文部科学大臣賞受賞。18年秋の褒章において、紫綬褒章を受賞。21年度国際交流基金賞受賞。国立音楽大学招聘教授。</p> <p>●中村仁美 東京藝術大学大学院音楽学修了。箏篳、左舞、古代歌謡などを学んで雅楽を演奏する他、現代作品を様々なジャンルの音楽家と共演。リサイタルで委嘱した箏篳ソロ・アンサンブル曲をCD「ひちりき萬華鏡」「胡笳の声」に収録。欧州や北米等の音楽祭にも参加する他、「雅楽三昧中村さんち」など小ユニットでも活動。2010年松尾芸能賞新人賞受賞。国立音楽大学非常勤講師。「伶楽舎」所属。</p> <p>●伊崎善之 東京藝術大学卒業。2009年同大学非常勤講師を勤める。「伶楽舎」に所属し、これまでにアメリカ、イギリス、フランス、中国、韓国をはじめ、国立劇場雅楽公演、サイトウキネンフェスティバルなど国内外の数多くの公演に出演。世界中で話題となったハリウッド制作ドラマ「SHOGUN 将軍」のレコーディングに参加するなど、横笛奏者として幅広い演奏活動を展開している。</p>											
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者: 18 名			運搬			積載量: 0.7 t					
	スタッフ: 2 名						車 長: 4.7 m					
	合 計: 20 名						台 数: 1 台					
本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込			無			前日仕込所要時間					
	到着		仕込		上演		内休憩		撤去		退出	
	10:00		10:00-12:00		13:30-15:00		15分		15:00-16:00		16時00分	
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。											
本公演 実施可能日数 目安 ※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。	6月			7月			8月			9月		
	22日			22日			0日			19日		
	10月			11月			12月			1月		
	21日			19日			19日			15日		
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。						計			137日		

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※会場条件について最低限必要な条件がある場合には、様式No.4内「会場簡



ワークショップ 龍笛の体験



ワークショップ 舞の体験



本公演
舞台の広さにより舞台上で演奏することもあります。
演奏場所は、ご都合により調整いたします。

著作権、上演権等の許諾状況	各種上演権、使用权等の許諾手続の要否		該当あり	該当コンテンツ名	「踊れ！つくも神 ～童子丸てんでこ舞いの巻～」 「星のテンテンテン」
	該当事項がある場合	権利者名	伊左治直、山根明季子	許諾確認状況	使用(上演)許諾取付済

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名

一般社団法人伶楽舎

】

ワークショップの
ねらい

本公演への導入として、基本的な雅楽についての知識習得の内容とする。唱歌と一緒に歌うことのほか、実際に雅楽の楽器や舞の体験をしてもらうことで、五感を使う学習の場とする。
小学校の場合には、音楽の教科書に載っている「越天楽今様」をまずはリコーダーで取り上げ、そのメロディに触れることで親しむところからはじめ、各楽器の特徴を知り、合奏において、その優美な音楽の雰囲気を感じてもらう。

児童・生徒の
参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

笙:4名程度、箏:6名程度、龍笛:30名程度
打楽器:30名程度
唱歌・舞:全員

ワークショップの内容

ワークショップ
実施形態及び内容

標準:90分

①「平調音取」、「越天楽」

「管絃」では、楽曲の演奏に先立ち、まず「音取(ねとり)」という短い曲を演奏します。これは、楽器の音合わせ(チューニング)から発展した形ですが、各楽器の奏者が笙、箏、龍笛、羯鼓、琵琶、箏の順に演奏します。これから始まる楽曲が、どんな響きのものなのか、知ることができます。
「平調音取(ひょうじょうのねとり)」の後、雅楽作品でもっとも有名な「越天楽」を演奏します。

②楽器紹介 笙、箏、龍笛

各楽器の特徴、音を聴いてもらいます。

③越天楽の唱歌 ★体験・参加

縦書きの楽譜を見ながら、雅楽楽器の伝統的な習得法である「唱歌(しょうが)」を、拍子を取りながら一緒に歌います。

④楽器紹介 琵琶、箏

⑤楽器体験 ★体験・参加

- ・笙 4名程度
- ・箏 6名程度
- ・龍笛 30名程度

※あらかじめ体験する生徒を決めておいていただき、順番に体験します。

⑥舞の体験 ★体験・参加

舞楽の特徴的な動きを全員が体験します。

<休憩>

⑦楽器紹介 打楽器

⑧楽器体験 羯鼓、太鼓、鉦鼓 ★体験・参加

各5～10人(合計15～30人)

※あらかじめ体験する生徒を決めておいていただき、順番に体験します。

ワークシート、塗り絵を配りますので、順番を待っている間、他の生徒が体験している間に進めます。

⑨合奏「越天楽」 ★体験・参加

羯鼓、太鼓、鉦鼓を体験した人の中から代表者が雅楽の楽器とあわせて演奏します。

⑩「越天楽今様」の練習

みんなで歌ってみます。

本公演では全員でリコーダーを練習して合奏に参加してもらうことを説明したうえで、ワークショップでは、まず、リコーダーと合わせて歌ってみます。

★中学生は、「越天楽今様」、あるいは「越天楽」を箏、龍笛(またはリコーダー)と一緒に合奏することを目標に、ワークショップで説明し、唱歌と一緒にやってみる。

⑪「越天楽」の演奏

学んだ楽器や唱歌の後で、「越天楽今様」との違いを聴いてもらいます。初めに聴いたときと違う聴き方ができ、また、「越天楽今様」との違いも聴きとれると思います。

⑫質問、その他

その他ワークショップに
関する特記事項等

本公演に向けて、希望がある学校については、ワークショップ後本公演まで、子どもたちが楽器を体験、練習できるように龍笛を1本贈呈します。

一般区分・特別エリア区分共通
No.4(共通)

別添	なし
----	----

【公演団体名 一般社団法人伶楽舎 】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。

- ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
- ・搬入車両が構内に入らず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
- ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。

上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。

任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。

詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。

なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。						
会場の設置階の制限		条件なし		主幹引き込み電源容量			A以上
舞台設置面積		間口	8 m	奥行	7 m		
		高さ	m				
舞台設置場所		フロア対応	可	学校のステージでの対応		可	
搬入間口の広さ		幅	1.8 m	高さ	1.8 m		
遮光の要否		不要		緞帳の要否		有無のみ確認したい	
ピアノの使用について		使用しない		ピアノを使用する場合の設置位置の指定		なし	
				ピアノを使用しない場合の移動の要否		不要	
搬入車両(トラック等)の横づけ		応相談		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離		応相談	m以内
搬入車両の種類		ハイエース		台数	1 台		
搬入車両の大きさ		車幅	1.69 m	車長	4.69 m		
備考							

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

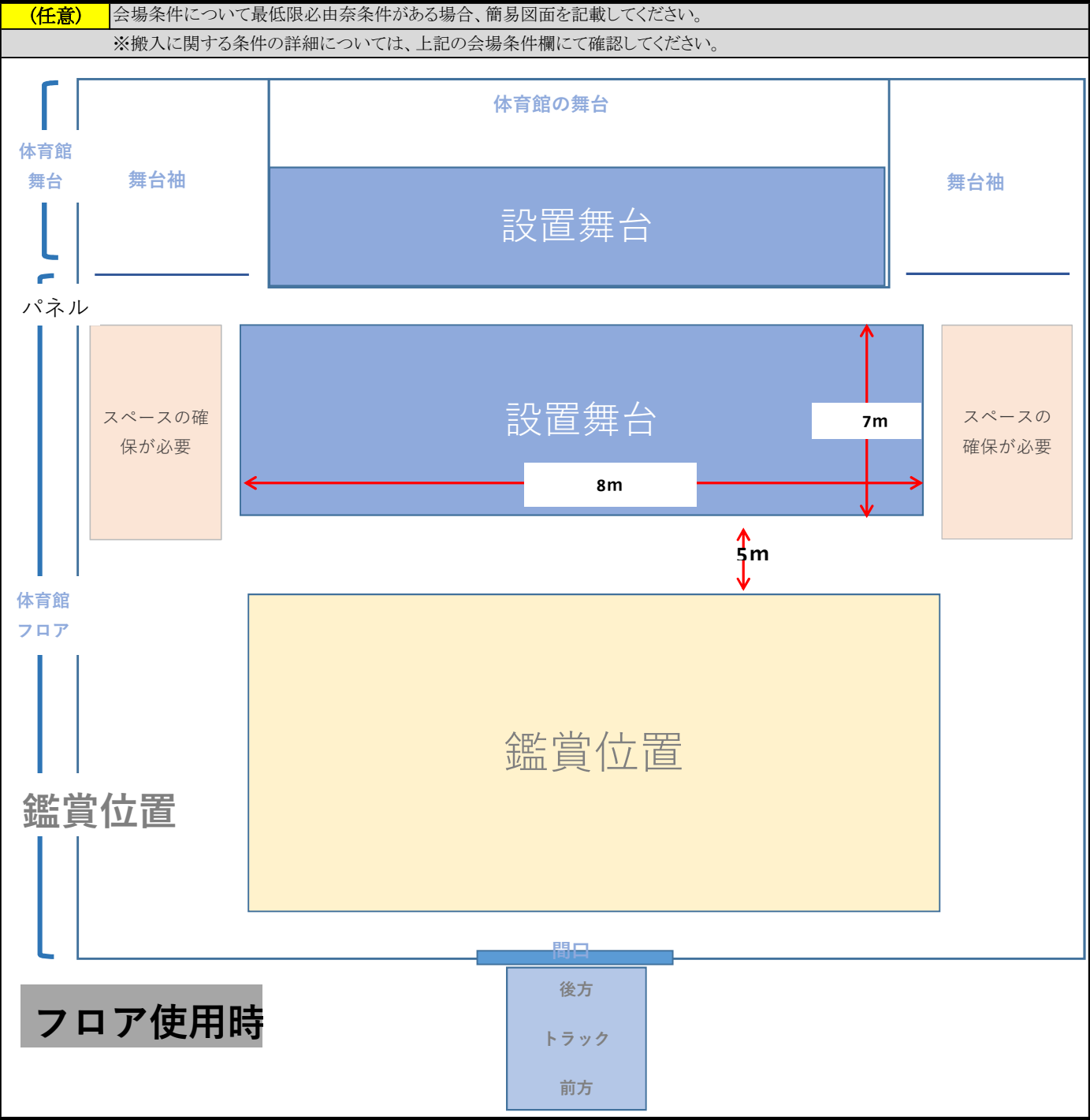
学校からの情報

(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
会場図面の提出要否		
その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)	搬入経路の資料、校歌楽譜	

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ					
	ワークショップ					
本公演						
	本公演					

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1	着替え用の控室2室(1室あたり10名以上収容)の確保が可能か	
	2	搬入車両の留置き位置が会場から遠くなる場合には、搬入経路に屋根(仮設可)を設置が可能か	
	3	バスケットゴールの格納、公演時のチャイムの消音は可能か	

会場簡易図面



別添

なし

【公演団体名

一般社団法人伶楽舎

】

本事業への応募理由等

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

【本事業を通じて実現したいこと】

古来より脈々と伝承されてきた雅楽の響きについて、どこかで耳にしたことのある子どもたちも少なくないと思います。しかしその響きがどのような楽器から、どのように演奏されているかを知っている子どもたちは少ないのではないのでしょうか。感受性豊かな子どもたちが、普段聴き慣れないこの響きに対して、実際に楽器に触れ、音を出してみ、興味を強くする過程がとても大切であると考えています。

このことは、その厳かな衣装や舞楽の所作など、視覚的要素においても同様です。日常においてあまり意識することのなかった雅楽に実際に触れることで、好奇心を刺激し、雅楽を少しでも身近に感じてもらえれば幸いですし、雅楽を通して、日本の伝統と文化を尊重する精神が育まれることも極めて重要なことと考えております。

【上記の実現に向けて、実施の工夫】

伶楽舎の取組の一環に、雅楽普及のための子どもたちへのプログラムの研究があります。2015年からは、自主企画として子ども向けのコンサートを毎年開催し、子ども向けのレパトリーも開拓しております。

これらの実績、経験を踏まえ、単なる雅楽の紹介、体験に留まらず、「子どもたちに寄り添った、子どもたちに興味をもってもらえる」プログラムを構成します。

楽器の紹介、管絃の演奏、舞楽の演奏、管楽器・打楽器・舞の体験、子どものための現代作品の演奏と、雅楽の構成要素を網羅した内容により、ワークショップと本公演の二日間において、子どもたちが雅楽を様々な側面から触れられるようにプログラムしています。

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

【学校との連絡調整について】

事前準備のお願いや、当日の流れなどについては、詳細をまとめた資料を事前にお送りし、先生方が不安なく同日を迎えていただけるように、調整いたします。

そのうえで、電話、メール、FAXなど、先生方の都合の良い連絡手段を確認し、質問等コミュニケーションを図ります。

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

学校として箏を所有しており、すでに箏の稽古をしたり、親しみを抱いている児童・生徒に対しては、箏をしっかりと取り入れてワークショップを行います。またブラスバンド等で管楽器を得意としている児童・生徒には、雅楽における管楽器の体験数を増やします。一方で、歌やリコーダーなど、誰でも少しの練習で共演することのできる選曲としています。

雅楽の楽器、特に管楽器は、音を出すことに苦勞する場合もありますので、児童の様子を聞きながら、また先生の希望をお聞きしながら、体験の割り振りなど相談いたします。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

今回のワークショップ・本公演を通じ、一人でも多くの児童・生徒に雅楽に対する興味をしっかりと抱いていただきます。その興味を少しでも大きくしていくために、ホームページやSNSからの情報発信を充実させ、雅楽を身近に感じる機会を増やします。

また、情報発信だけでなく、質問や意見を受け付けることで、双方向の意見交換を実現させ、児童・生徒の継続的な学びにつなげていきます。ワークショップを行う際、龍笛を1本贈呈いたします。本公演までの間に練習していただくこともできますし、本公演終了後も、雅楽の楽器がすぐ身近にあることで、子供たちが継続的に雅楽に触れ、楽しんでくれることを期待します。

リンク先	No.1	【公演団体名	一般社団法人伶楽舎	】
項目内容 動画リンク	伶楽舎 動画一覧	https://reigakusha.com/home/repertoire		
	伶楽舎 ダイジェスト	越天楽～楽器紹介～舞楽～ボン太と神鳴りさま		
		https://youtu.be/TiN2Xt6Mv-E?feature=shared		
	越天楽	https://www.youtube.com/watch?v=qVONtusvSx8&t=1s		
	舞楽 陵王	https://www.youtube.com/watch?v=FEHrZ8LDaIY		
	ボン太と神鳴りさま(芝祐靖 作曲・脚本)	https://youtu.be/Fjf1uqyyLpc		
	伶楽舎・＜雅楽VR動画＞管絃「越天楽」 supported by KDDI / 国立劇場	https://youtu.be/s9F00Ye13KU?feature=shared		

別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名	一般社団法人 伶楽舎】
<p>項目内容 出演者プロフィール</p>	<p>八百谷啓人(代表理事) 伶楽舎代表理事、僧侶・雅楽演奏家。1985年伶楽舎に入会、1986年伶楽舎事務局長に就任、2013年伶楽舎法人化にともない理事に就任。2019年芝祐靖死去にともない伶楽舎代表理事に就任。 1980年国立劇場第二十八回雅楽公演に参加。以後国立劇場における雅楽公演に常時多数参加。 1986年イタリア・リミニ市にてFestival Meeting 86に参加。以後声明とのコラボレーションで度々ヨーロッパにて演奏。「伶楽舎」「アンサンブル遊声」等の一員としてツアー多数参加。</p>		
	<p>笹本武志 琴古流尺八家元の家系に育ち、東京藝術大学大学院修士課程修了。龍笛および雅楽演奏を芝祐靖氏に師事。主な著書に、「はじめての雅楽」(東京堂出版)があり、作曲家としてCDや楽譜が出版されている。武蔵野雅楽教室、北区子ども文化教室(雅楽)、NYコロンビア大学雅楽プロジェクトなどで講師を務める。「伶楽舎」所属。</p>		
	<p>田淵勝彦 東京藝術大学附属音楽高校、同大学器楽科卒業。大学入学時より雅楽を始める。箏を東儀博氏、雅楽全般を芝祐靖氏に師事。三宅一生バリコレクション、シカゴ交響楽団定期演奏会、バリオペラ座定期バレエ公演、カナダ国立モントリオール・グランバレエ公演等、古典、現代曲を問わず国内外で幅広い演奏活動を行っている。鶴沼箏楽倶楽部主催、比々多神社雅楽会代表。伶楽舎理事。</p>		
	<p>中村華子 国立音楽大学音楽学学科卒業。笙を宮田まゆみ、多忠輝、雅楽合奏を芝祐靖の各氏に師事。2006年度文化庁新進芸術家国内研修員。「伶楽舎」メンバーとして活動する他、「Shogirls」「雅楽三昧中村さんち」「どんぶらこ」などのユニットでの活動や、笙のソロ作品やアンサンブル作品の初演や他ジャンルの芸術とのコラボレーションも多い。</p>		
	<p>野護元 大分県出身。幼少より龍笛をはじめ。横笛演奏を芝祐靖氏に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科雅楽専攻にて、横笛、左舞、古代歌謡、琵琶、鼓類などを修め卒業。安宅賞、アカンサス音楽賞、同声会新人賞の各賞を受賞。国立劇場主催公演「Japonismes 2018」、東儀秀樹コンサートなど国内外の公演に出演。現代作曲家による新作、ゲーム音楽など様式を問わない幅広い活動を展開。「伶楽舎」所属。</p>		
	<p>野田美香 東京藝術大学音楽学部卒業、同大学院修了。宮城会コンクール入賞、NHK邦楽オーディション合格。「彩音」「箏座」「ら・ぶりーさ」のメンバーとして、演奏活動及び教授活動を行なう。伶楽舎では楽箏奏者として、雅楽古典曲、古典廃絶曲の復曲、正倉院復元楽器による合奏、現代作品の演奏を行なう。国立劇場音楽公演の他、タングルウッド音楽祭など海外の音楽祭に多数出演。</p>		
	<p>三浦礼美 国立音楽大学卒。笙を宮田まゆみ、豊英秋各氏に、雅楽合奏を芝祐靖氏に師事。「伶楽舎」の一員として国内外の公演に多数出演。また笙3人のユニットShogirlsを結成し2012年より毎年公演を行い、新曲委嘱、初演にも積極的に取り組んでいる。TV、CD等の録音も多数。ムサシノ雅楽教室、雅の会ふくしま講師。</p>		
	<p>宮丸直子 東京藝術大学音楽学部、同大学院修了(音楽学専攻)。日本の伝統音楽各種の理論と実技を学び、横道萬里雄、小泉文夫、若山胤雄各師他から薫陶を受ける。芝祐靖師には在学中から師事、その後、伶楽舎メンバーとして創立時から活動、古典や新作初演に参加、国内各地の他、海外20カ国で公演。演奏以外にも著述活動も多く行い、普及活動を展開している。</p>		